

# 日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター  
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center



2019.1 第39号



SL大樹と紅葉（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（脳神経内科）	2
部門紹介（循環器病センター）	3
第7回 連携医療懇話会開催	4
医療安全川柳表彰	5
日光消防とトリアージ研修会開催	5
社団医療法人 英静会森病院／求人情報	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

## ▶ 脳神経内科 2018年10月より神経内科は脳神経内科に科名を変更しました。

常勤2名、非常勤4名で診療にあたっております。分野としてはパーキンソン病等の神経難病や脳血管障害、認知症、頭痛といった領域を主に扱っております。

診療の流れとしては初診外来を受診して頂き、問診・診察の後に画像検査など必要と思われる検査を予定します。疾患によって症状は多岐に渡りますが、先に述べた疾患は高齢者が大半を占めるということもあり当センターのリハビリテーション部と連携をとることが多いです。今回はそちらに関して述べさせていただきます。脳血管障害では顔面及び手足の麻痺・感覚障害や言語障害、また認知症やパーキンソン病などであまり動けなくなってしまった方の廃用は日常生活に支障を来すことが多いです。症状の程度や期間によっては後遺症が強く残る場合もあります。しかし、早期にリハビリテーションを行うことで最終的な機能予後の改善を図れるということが近年わかってきました。

当科の患者さんへのリハビリテーションは理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3療法を行っており、それぞれについて簡単に紹介させていただきます。理学療法では入院早期から薬物療法と並行して起床や歩行の訓練などを行います。作業療法は手の動きや日常生活動作の練習、例えば着衣やトイレ動作等の練習を行い、言語聴覚療法は発語訓練や認知機能の検査・訓練を主に進めています。最近ではLSVT@BIGというパーキンソン病患者に対する教育・予防的なリハビリテーションに力を入れており、先日それに関する講演も開催させていただきました。

日光市にはご高齢の方が多く、少しでも長く日常生活活動を維持できるよう、これからも貢献できるように尽力していきたいと考えております。

堀江 淳一



部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

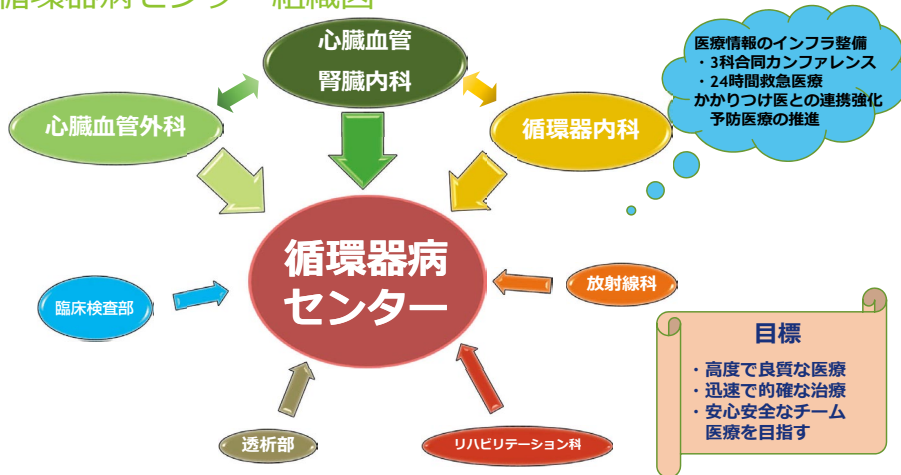
▶ 循環器病センター

日光医療センターは日光地区周辺の住民や観光に訪れる方々の医療を支え開院して13年目となります。治療だけでなく予防医療や健康増進にも努めて参りましたが残念ながら脳卒中、心筋梗塞で救急搬送される方が絶えないという現状があります。また昨今のメディア報道でもご承知の通り日光地区は超高齢化と人口減少が急速に進んでおりそこに環境の変化、気温の日内変動が激しい土地柄、脳卒中や突然の心臓病が発症する可能性が高くなっていると考えられます。

この地域性から、心臓・血管系疾患に対する循環器高度専門医療を広く行っていくために平成30年4月より循環器病センターを新設いたしました。循環器内科、心臓・血管・腎臓内科、心臓・血管外科の3科の専門医師が外科内科の隔たりなく診療にあたります。そして緊急時に対応すべく24時間対応可能な体制を整え3科で連携することで治療の安全性を高められ迅速で的確な診療を行うことができるようになっていきます。治療方針についても合同カンファレンスで検討しリハビリテーション部、臨床検査部、放射線部、透析部のスタッフとも共有・協力して進めており安心して治療を受けることができます。今後は地域の健康増進を推進するために患者さんや住民の方々を対象とした講演会や説明会を定期的で開催したいと考えています。さらに他の医療機関、かかりつけ医の先生方とも連携を強化し、この地区に則した生活習慣の改善策や予防につながるネットワークを展開していきます。日光医療センター・循環器病センターが日光地区、県西地区の心臓血管系疾患治療を支える中心となり地域の皆様のためになるよう尽力したいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

平成30年12月13日 循環器病センター長 杉村 浩之

循環器病センター組織図



●●● 冠動脈スクリーニング検査の紹介 ●●●

循環器病センターでは地域の方々の心筋梗塞を未然に発見する試みをおこなっています。心臓の血管（冠動脈）をCTスキャンにて検査し詰まる血管を未然に発見する検査です。高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、喫煙習慣等のハイリスクの方々は是非ご利用ください。ご希望の方は循環器内科を受診されるか現在通院中のかかりつけ医にご相談ください。

## 第7回「多施設でつながる地域医療を考える会(連携医療懇話会)」開催

地域連携医療部

日光の山々が紅葉に色づき始め、秋の行楽シーズンを迎えた10月17日(水)、日光東照宮晃陽苑に於いて「第7回多施設でつながる地域医療を考える会」を開催いたしました。

日光地区及び近隣地域の連携機能の強化・充実を図るとともに、「顔の見えるつながり」を趣旨とした連携医療懇話会も今年で7回目を迎え、年々多くの賛同をいただき、今年のご来場者は、地域の先生方を始め、医療機関や施設などから過去最高の合計140名を超える多大な出席をいただきました。

開会に、地域連携医療部長の伴場信之教授の挨拶があり、引き続き当センターの教職員による講演を行いました。

第1部は、「話題提供」として「地域包括ケアシステム推進に向けたリハビリテーションネットワーク」と題し、リハビリテーション部の田村由馬主任より、日光地域における疾患別リハビリテーションの実態と、当センターの実施体制などの説明があり、高齢者が多い地域のリハビリテーションを、将来的にどのようなビジョンで行うか、さらに紹介医療機関との連携がどのようになされるべきかなど、相手の立場に立った講演があり、出席者から当センターのスタンスについて多くの理解を得ることができました。

第2部では、「地域で支える連携医療」をテーマとして、伴場教授が座長を務め、整形外科の長田伝重教授が「骨粗鬆症を基盤とする整形外科的疾患と外傷ー最近の話題ー」と題し、テーマに基づく最新情報を分かりやすく説明するとともに、当センターの動向を交え、地域連携を念頭とした特別講演を行いました。講演後には、多くの質疑が出され、出席者の関心の高さを伺うことができました。

例年では、第2部で終了していた懇話会でしたが、今年は第3部として、本年から始動した循環器病センターから、杉村浩之教授より、「冠動脈スクリーニング検査のご案内」として、冠動脈疾患患者に対するスクリーニング検査依頼の授受や、地域医療における医療機器の共同利用などを積極的に受けていく旨の講演がありました。

最後に、原澤寛病院長から閉会の辞が述べられ、盛会のうちに幕を閉じました。

なお、本会終了後には、上都賀郡市医師会会長新沢敏章先生の開会の挨拶により情報交換会が開かれ、各医療関係者の方々と当センター医師ならびにスタッフが和やかな雰囲気の中で親睦を深め、安隆則副院長の挨拶を以って閉会となりました。

ご参加いただきました皆様、開催にあたりご協力をいただきました皆様に、心よりお礼申し上げます。

今後も地域連携医療部では、日光市を中心とした近隣地域の医療機関、並びに施設との交流を深め、連携体制の更なる強化に努めていきたいと考えておりますので、ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## 医療安全川柳表彰

当センター内で医療安全推進活動として川柳コンテストを行いました。入賞作品は以下のとおりです。

	川柳	名前
病院長賞	誕生日 聞いてもナンパじゃ ありません	臨床検査部 大門 陽子
医療安全推進部長賞	声掛けの キャッチボールで 防ぐ事故	医事課 藤田 直也
佳作	㊤手助けを ㊥呼びかけ安全 ㊦協力を	4階西病棟 斎藤 恵里華
	リキャップで 使った針が ひょっこりはん	外来 榎 京子
	おい岩瀬! 処方の内容 よく見たか!	薬剤部 丸山 林土
	後でやる その考えが ミスのもと	4階西病棟 高橋 恵子
	もうやめよう したはず みたはず 言ったはず	3階西病棟 伊藤 沙也香

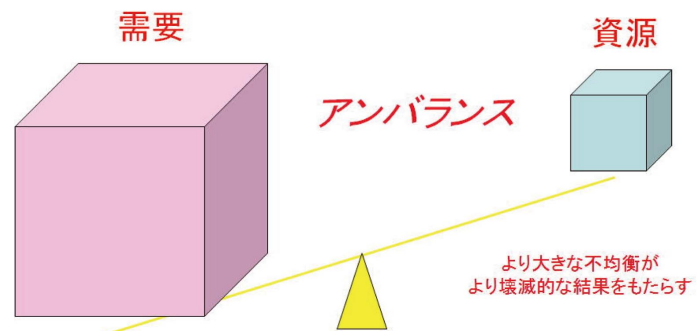
## 日光消防とトリアージ研修会開催

平成30年9月20日(木) 当センターの会議室にて、日光市消防本部の方を講師に招いてトリアージ研修を行いました。

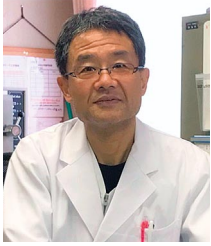
トリアージとは災害時に不足する医療資源を最大限に活用して、傷病者の救命に最大効果をあげるための技術であり、システムです。2人1組となってふり分けと精度向上をしていきます。

当センターでは平成27年度より災害拠点病院として災害時に備えて訓練を重ねていますが、今回は地域を支える体制として他の機関との連携を図ることを目的に研修会を開催いたしました。

昨年は6/18の大阪地震、7月の四国・近畿地方大雨・9/6の北海道地震と災害が多い年でしたが、栃木県で発災しても対応できるよう訓練に励んでいきます。



## 社団医療法人 英静会 森病院



旧今市市内にあります社団医療法人英静会森病院です。当院の開業は明治13年と古く、永年にわたり地域の皆様に支えられ、現在は根室・塩野室地域で介護保険事業も行っております。

私は獨協医科大学の9期生で、卒業後は大学の第一外科に入局し、一般・消化器外科を中心に勉強させていただいた後、実家の病院に戻りました。

当初は手術もしておりましたが、現在は行っておらず、外科といっても入院患者さんは慢性疾患の方がほとんどです。その為、癌や緊急手術を要する患者さんについては、同門である日光医療センター外科の先生方に受け入れていただき、大変感謝しております。外科以外の患者さんも呼吸器・循環器・整形外科疾患等幅広く対応していただき、また当院では人工透析(維持透析)を行っている為、透析導入や血管トラブルなどについても受け入れていただき、大変助かっております。

患者さんの転医に際しては、日光医療センター地域連携医療部の方々と当院ソーシャルワーカーとの間で、以前よりもスムーズに調整を進めていただいていると感じております。そして、急性期治療を終了した後も在宅に戻れない患者さんについては、病院や介護老人保健施設に逆紹介の形で戻していただき、感謝しております。

日光市は今後、急速な高齢化が進行する中で人口減少も加わり、医療・介護にとっては困難な情勢が予想されます。すべての患者さんが在宅復帰出来ることがベストですが、そう出来ない患者さんも多く存在すると思います。当法人でも現在、往診・訪問看護・訪問リハビリ・訪問介護・通所サービス等を行っておりますが、入院や入所も加えて柔軟な対応をとっていきたいと考えております。日光医療センターとは、今後も現在以上に連携を深めていきたいと考えておりますので、よろしくごお願い申し上げます。

### 御来院の皆様へ

### インフルエンザ・ノロウイルス



流行中



院内では、マスクを着用の上、手指消毒をお願いいたします。

感染制御部

### 当センターと一緒に働いてみませんか？

## 平成31年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで

TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

※平成30年度採用についても随時対応いたします。

### 編集後記

紅葉の素晴らしいこの地。皆さん、旧日光市役所をご存知ですか？大正時代の初め頃に「大名ホテル」の名前で建てられたが使用されず、昭和29年から日光市役所の庁舎として使用、日光東照宮近くに構える素晴らしい国指定文化遺産。これから公園化へ。2021年オープン目指し補修。世界中の観光客で賑わう、どんな公園になることでしょうか。

(M.F)

### 日光医療センター通信 ~いろは~ 第39号

〒321-2593 栃木県日光市高徳632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc.html>

発行年月日/平成31年1月00日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら

<http://dokkyoika-daigaku.disc-chc.jp/nikko>

または、右記のQRコードを読み取りアクセスして下さい。

